



松本 一二美 議員

Q 町名をひらがなで「まさき」に変更を

A 広く意見を聞きながら十分検討する

問 松前町・町制60周年記念行事の一つとして、節目を絶好のイメージアップのチャンスと捉えて「松前町」をひらがなで「まさき町」にすることを提案するが、見解は。

答

町長

漢字からひらがなにすると、確かに読みやすくPR効果はあるが、名前を変えらるとなると、公文書を含めてさまざまな書替が必要になる。

60年の歴史もあることから、住民の皆さんにアンケートを取るなど、広く意見を聞いた上で十分検討する。



問 障がい者への支援の充実を

① 障がい者への生活支援平等性の観点から、タクシーチケット未利

用者にガソリン利用料金助成を要望するが、見解は。

② 障がい者の自立、就労支援の取り組みと、障害者優先調達推進法への見解は。

答

保健福祉部長

① タクシー利用助成の趣旨は、交通手段のない重度障がいの方がタクシーを利用した場合に助成をする制度だ。自家用車利用者へのガソリン利用券交付は、検討事項が多く研究課題とする。

② 今後施設との協議や情報収集に努め、物品調達や委託可能作業など整理し対応する。

入札参加資格の要件などは、障害者優先調達推進法の趣旨や障がい者雇用の促進などを反映した契約制度となるよう検討する。

問 食物アレルギー研修の実施を

昨年東京で、学校給食が原因とされる食物アレルギーの重篤な症状「アナフラキシーショック」で死亡事故が起きた。

当町におけるアレルギー児童・幼児の現状とアレルギー対応は。

緊急事態対応のため、学校や保育所の教職員など関係者全員を対象に、アレルギー研修を実施すべきと考えるが見解は。

答 万が一に備え体制を整える
学校教育課長

アレルギー対応の児童生徒は、来年度には23名。保育所は12名。年々増加している。給食の調理は、

細心の注意を払って献立の作成、成分表のチェックを行っている。教員間で共通認識を持ち、緊急時はどの教員でも対処ができるようにしている。食物アレルギー研修は実施している学校もあるが、

実施していない学校は、今後指導する。



いっぱい入れてね

問 委託事業の公平化を

公園清掃委託は金額の格差が大きいですが、高額な場合は入札すべきではないか。

答

地域と協議中
まちづくり課長

決算特別委員会で業務内容の精査を指摘され、現在地域と協議を行っている。

その他の質問

問 公園管理者連絡協議会開催を

答 設置の考えはない。

問 指定管理制度の導入後、モニタリングと第三者評価の実施を

答 必要性を検討する。

問 商店街・街路灯の考え方は

答 安全・安心を守る観点からも重要。商店街のイメージアップ、コスト削減を図る。